

施策名	行政評価 施策体系	後世に引き継ぐまちなみ	施策 統括課	都市計画課	氏名	江村英利
政策名	施策体系	まちをつくる	施策 関係課	国立駅周辺整備課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・市民 ・事業者 ・市内全域
意図(対象をどう変えるのか)	・美しい市内のまちなみを後世に引き継いでもらう ・地域特性にふさわしい土地利用を図る

対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ 事業者	事業者
ウ 市域面積	km <sup>2</sup>
エ	

成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 都市景観基本計画の重点地区数	地区
イ 住民による景観支持率	%
ウ	
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
美しいまちなみの形成	景観法に基づく景観計画・景観条例を策定します。重点地区の指定を行います。まちづくり条例を策定します。良好な住環境の形成を図ります。
計画的なまちづくりの推進	良好な住環境を確保し、地区計画の推進を図ります。国立駅周辺まちづくり事業の推進を図ります。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
対象指標	ア 人	見込み値 実績値	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381	74,385	76,000 74,558		
	イ 事業者	見込み値 実績値	2,630(H18)	2,820	2,820(H21)	2,820(H21)	2,820(H21)	2,640	2,640(H25)	2,640(H25)		
	ウ km <sup>2</sup>	見込み値 実績値	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15		
	エ	見込み値 実績値										
成果指標	ア 地区	成り行き値			2	2	2	2	2	2	2	
		目標値			4	4	4	4	4	4	4	
		実績値		2	2	2	2	2	2	2	2	
	基本計画における 施策の目標設定の根拠			都市景観形成基本計画で重点地区候補地として挙げられた4地区を重点地区として指定することを目指し、目標値を設定しました。								
	イ %	成り行き値			74.9	74.9	74.9	74.9	74.9	74.9	74.9	74.9
		目標値			73.7	74.9	76.1	77.3	78.5	80.0		
		実績値		72.5	74.8	77.6	78.1	78.4	77.4	79.3		
	基本計画における 施策の目標設定の根拠			第1回国立市市民意識調査では、77.2%の市民が美しいまちなみを保全・形成していると思うと回答していることから、この水準を上回ることを目指し、目標値を設定しました。								
	ウ	成り行き値										
		目標値										
		実績値										
	基本計画における 施策の目標設定の根拠											
エ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
基本計画における 施策の目標設定の根拠												
オ	成り行き値											
	目標値											
	実績値											
基本計画における 施策の目標設定の根拠												
事務事業数		本数	13	13	13	13	12	11	11	12		
施策コスト	財源内訳	国庫支出金	千円									
		都道府県支出金	千円	800			191	121				
		地方債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	6,386	2,120	316,242	4,390	1,511	765	1,106	10,148	
	事業費計(A)	千円	7,186	2,120	316,242	4,390	1,702	886	1,106	10,148	0	
人件費	延べ業務時間	時間	9,805	9,175	11,117	9,609	11,340	9,606	10,245	10,650		
	人件費計(B)	千円	42,620	41,824	51,581	44,041	52,850	42,814	46,584	48,350		
トータルコスト(A)+(B)		千円	49,806	43,944	367,823	48,431	54,552	43,700	47,690	58,498	0	

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

- ・平成8年11月に国立市都市景観形成基本計画を策定し、平成10年3月の国立市都市景観形成条例の施行により、良好な景観の維持・保全が図られるよう指導を行っている。
- ・平成17年6月に景観法が全面施行された。
- ・平成19年4月に東京都は景観法に基づく景観行政団体となり、景観の指導を行っている。
- ・平成21年11月に国立駅周辺まちづくり基本計画(以下、基本計画)を策定した。基本計画に基づき平成22年8月に国立駅周辺まちづくり会議を設置し、平成25年9月までにまちづくり会議を10回及び3つの検討部会で合計21回の会議を開催した。
- ・平成26年度に、基本計画で活用することを想定していた、国庫補助(社会資本整備総合交付金)の対象範囲が変更となった。
- ・中高層マンション計画や、旧国立駅舎の再築の議論により、景観に対する住民意識が更に高まっている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・基準を遵守する責務において、景観・住環境に対する国立市の姿勢が伺えるとの意見がある。
- ・旧国立駅舎の再築については、市民の間で様々な意見がある。
- ・マンション建築に伴う紛争防止の観点からまちづくり条例の必要性が求められている。

5 27年度の評価結果

(1) 27年度行政経営方針の取組状況

27年度行政経営方針	取組状況
<p>1. 国立駅周辺まちづくり事業</p> <p>中央線連続立体交差化事業の完了に伴い、国立駅周辺において南北の一体化が進んできている。国立駅周辺まちづくり事業を本格化させ、他のまちにはない独自の魅力あるまちづくりを進めていく。</p> <p>具体的には、北口駅前広場の実施設計、中央線高架下市民利用施設や国立駅南口第一自転車駐車場の実施設計、旧国立駅舎の再築のための用地及び複合公共施設整備用地の取得、都市計画道路3・4・10号線の引き続きの整備など、国立駅周辺の賑わいと活力の創出のため、あらゆる角度から知恵を出し合って事業を推進していく。</p> <p>2. まちづくり条例制定・推進事業</p> <p>これまでの歴史の中で築き上げられた街並みを保全し、計画的な土地利用を図るため、まちづくりの基本事項や紛争予防の手続き、開発事業の基準等を定める「まちづくり条例」の早期制定を目指すとともに、条例制定後の適切な運用を図っていく。</p>	<p>・まちづくり条例について庁内検討会と学識者からなるアドバイザー会議で検討を重ね、素案の説明会等を行い13月に条例を制定した。また、絶対高さ高度地区については、まちづくり条例の中で高さの基準を定めた。</p> <p>・平成29年度までの3か年で都市計画マスタープラン改訂の取組みを開始した。</p> <p>・旧国立駅舎、高架下市民利用施設、自転車駐輪場の整備内容とする国立駅周辺整備事業に係る都市再生整備計画、社会資本総合整備計画をまとめ、国土交通大臣に提出し、国の予算成立により、正式に社会資本整備総合交付金対象事業として採択された。この計画に基づき31年度までに事業を完了する。</p> <p>・国立市のまちなみにとって重要な旧国立駅舎に関しては用地に関する課題、建築に関する課題がある。用地については、地権者と継続して協議を行った。建築については、部材調査・基本設計から施工までを一貫して担うことができる事業者を選定した。</p> <p>・国立駅南口複合公共施設整備用地を取得し、その活用計画について検討した。</p> <p>・交通体系の整理を踏まえた、国立駅北口、南口駅前広場の整備に関しては、交通管理者との協議を行い、適切に整備を行うことができるような段取りを踏んでいる。</p>

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標達成度(目標値と実績値との比較)
<p>成果指標ア { 都市景観基本計画の重点地区数 }</p> <p><input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 ( <input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下 )</p> <p>成果指標イ { 住民による景観支持率 }</p> <p><input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 ( <input checked="" type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下 )</p> <p>成果指標フ { }</p> <p><input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下 )</p> <p>成果指標エ { }</p> <p><input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下 )</p> <p>成果指標カ { }</p> <p><input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下 )</p> <p>成果指標キ { }</p> <p><input type="checkbox"/> 27年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ( <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 26年度実績値と比較し成果低下 )</p>
<p>時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上) ~ E(かなり低下)</p> <p>C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)</p>
<p>他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い) ~ E(かなり低い)</p> <p>B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である</p>
<p>背景として考えられること</p> <p>ア...景観行政団体となり、景観計画を策定することにより達成できる。</p> <p>イ...JR中央線の高架化による事業効果が表れたと推測される。</p> <p>第6回国立市市民意識調査に比べ、成果指標は「あまり増減はない」と評価されている。</p> <p>他市に先駆けて平成10年から取り組んでいる都市景観形成条例の運用による成果が表れていると思われる。</p>

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

- ・都市計画法に基づく市内全域への絶対高さ高度地区指定は難しいことから、まちづくり条例の中で高さの基準を定めた。
- ・まちづくり条例の制定に向け、庁内検討委員会を4回、学識者からなるアドバイザー会議2回、条例骨子案の説明会、条例案の説明会を開催し、3月31日に条例を制定した。
- ・都市計画マスタープラン改訂に向け、委託業務を発注し、庁内検討委員会を1回開催した。
- ・基本計画で想定していた国庫補助の対象範囲が変更となったが、それに対応して補助事業申請を行った結果、道路関連事業は都補助、旧国立駅舎再築事業を始めとする事業は国補助を活用して、事業実施することができるようになった。

6 施策の課題・今後の方向性

- ・まちづくり条例の施行に向けての周知を行うとともに、地区まちづくり計画の策定に取り組んでいく。
- ・都市計画マスタープランの改訂を平成29年度に完了できるように取組みを進める。
- ・28年度に今後の道筋を描けないと、国立駅周辺整備事業全体のスケジュールに影響を与えることから、遅延は許されない状況となっている。